

チームプレイの基本②

支援手順書に基づく支援と 記録の体験

この時間で学びたいこと

- 同じ支援に関わる支援員全員が統一された支援を提供することで、本人が落ち着いて活動することができることを学びます。
- 支援の中で起こった結果を、的確に記録し反映する事で、今まで以上にストレスなく自律した活動ができるようになる為の次につながる支援記録を残すことを学びます。
- 行った支援を的確に引き継ぎ、同じ質を担保しながら、さらに良い支援を組み立てていくため、職場内の連携を学びます。

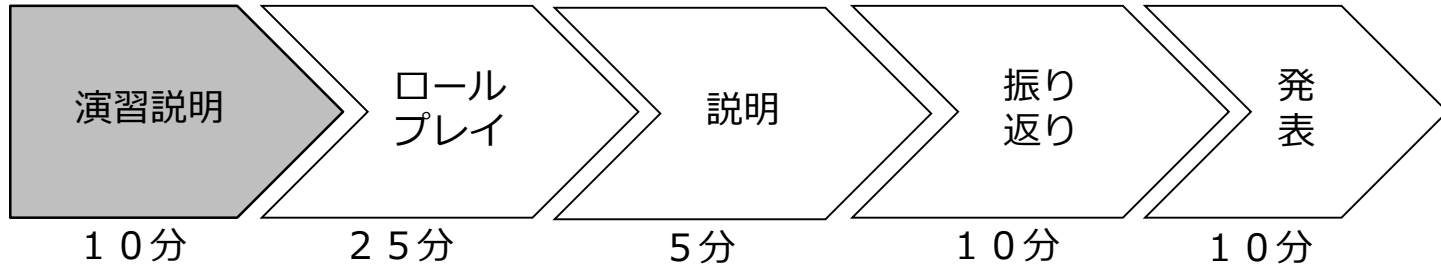
この演習で伝えたいポイント

- 支援手順書に沿って支援を行うことで、落ち着いて支援が行えるという体験を通じ、チームプレイの大切さを学びます。
- Kさんの事例を使った資料を元に支援手順書どおりにロールプレイを行い記録をすることの大切さを学びます。

【注意してほしいこと】

この演習は、支援手順書に沿った支援を行うことと、視覚ツールを活用することで、本人が安心して活動できることを体験する演習ですので、ケース検討や支援内容の修正などが目的ではありません。

この時間の流れ



演習 4 買い物場面での支援手順書の使用 Kさんの支援

- A4 「ジュース買い物支援手順書」
- A4 「Kさんの動き」
- A4 「ロールプレイチェックシート」
- A3 「振り返りシート」
- 買い物カード (チーズ、おやつ、ジュース)
- 買い物カゴ
- レシート
- 財布(袋に150円と描いた付箋を入れる)

配役と流れ

- 1 グループを2つに分けます（3～4人程度）。
- 役割は、「本人」、「支援者（ヘルパー）」、「観察者兼店員」の3つです。※4人グループの場合は、観察者と店員を分けてください。
- 本人（Kさん）役は、「Kさんの動き」を確認し行動してください。
- 支援者は、支援手順書を覚え、支援手順書通りに行動できるようにしてください。
- 観察者は、支援者が支援手順書通りに動いていたか、注意すべきポイントに配慮していたかなどをチェックシートに記録してください。
- 支援中は、「支援手順書」、「Kさんの動き」などのシートは見ないで行います。
- 全員が全ての役を行ったところで終了です。

配役と流れ

「観察者兼店員役」

「観察者役」

- チェックシートを確認して、演習の様子を支援手順書に記入する
- 支援手順書通りに関わっていたか？ 視覚的な手がかりに注目できていたか？などを観察する

「スーパーの店員役」

- スーパーのレジを担当
- Kさんが持ってきたジュースを受け取り、レジを打つ
- 代金「150円です」と伝え、代金を受け取る
- レシートとジュースを渡す

「支援者役」

- 支援手順書の内容をしっかりと確認し、それに沿ってKさんの支援を行う



交代で行います

「本人役」

- 自閉症で重度知的障害を伴うKさん
- 詳細は、前演習で使用した特性確認シートと冰山モデルシート参照

配役と流れについて

- ◆ 参加人数に合わせ、順番を設定してください。
Kさん役は全員にやっていただきたいですが、ファシリテーターが担い続けるという方法も選択の一つです。
- ◆ ファシリテーターが全グループに配置出来ない場合などは、メンバーで行ってもかまいませんが、優しすぎず厳しすぎない程度のKさんを演じてもらえるようにしてください。
運営側でデモを行うのもいいと思います。
- ◆ 最低3人で行うことができます。1グループを2つに分けてもらうことで時間の短縮になります。
- ◆ 1グループの人数が多い場合は、記録と観察者もしくはファシリテーターの代わりに店員役として配置してください。
※役割をしながら観察するのは難しいので無理のない配慮をお願いします。

配役と流れ（例）



配役は全員が1回ずつ担当をします。
役の方は、配布されている配役の名札をかけて自分が何の役なのかを明確にしてください。

※改めて名札を用意できない場合は、クリップなどで名札にとめてもらっても構いません。

早めに終了したグループは、支援手順書にある記録欄に自分が行った時の状況を記録してください。

構造化のアイデア

特性確認シート 診断の基準に関する項目	理由	構造化の工夫
<ul style="list-style-type: none"> 想像力の特性 変化への対応困難 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しが持ちにくいので視覚的に活動の流れを伝える 絵が理解できるので、絵で伝える カードをめくる形にすることで、この活動の順番を伝える 	買い物カードを使う (視覚的な手がかり)
	理由	関わり方の工夫
<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの特性 理解が難しい 感覚の特性 感覚が敏感・鈍感 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味がわかりにくい 音に対して過敏なので過度の声かけで混乱しやすい 	声かけは最小限に
<ul style="list-style-type: none"> 想像力の特性 常同・反復的な行動 物の一部に対する強い興味 	<ul style="list-style-type: none"> 気になるものがあると注意がそれやすいので買い物カードを見て取り組む活動をつど確認する 指示がないとどこかに歩いて行ってしまう 	そのつど買い物カードを提示する
<ul style="list-style-type: none"> 想像力の特性 物の一部に対する強い興味 	<ul style="list-style-type: none"> 見た物が気になりやすい特性や、衝動的に行動してしまうことへの配慮 	気になる物が目に入らないように注意する

モデル情報シート

知的障害を伴う自閉症のKさん	
行動	背景の特性
<ul style="list-style-type: none">「やめて」「止まって」「違いますよ」など声かけの指示はわからない声かけには反応しない「Kさん」と呼ばれると支援者の方を見る	言葉の理解が苦手な混乱しやすい 名前の理解はある
<ul style="list-style-type: none">言葉を話さない、「あっ」「うっ」などの発語がある	言葉をコミュニケーションに使えない
<ul style="list-style-type: none">チーズ、おやつを見るとすぐに触ろうとする	衝動性が高く、気になるものがあると衝動的に触ってしまう
<ul style="list-style-type: none">買い物カードを見ると取り組む活動が理解できる (簡単な文字や絵)	簡単な文字を理解できる
<ul style="list-style-type: none">指示がないときは歩き出す	場面の意味がわかりにくいので、指示がないと気になるものに歩いて行ってしまふ
<ul style="list-style-type: none">指差しされた方向に注意を向ける、「腕、指を交差させてバツのジェスチャー」「手を振って違うのジェスチャー」などは理解できない	非言語コミュニケーションの理解に限りがある
<ul style="list-style-type: none">お金を払う行為について	財布を渡し店員にお願いすることができる

買い物カード

じゅーす



かいもの



おかねをはらう



いえにかえる



支援手順書（例）

Kさん ジュース買い物支援手順書／記録用紙

基礎研修演習④用カード

年月日		氏名	〇〇〇 K〇〇
-----	--	----	---------

記入者	
-----	--

手順	支援	ポイント	記録
事前準備	・買い物カード ・150円の買った財布		
1 スーパーの入り口でカードを確認する	ジュースを買うことを伝えるために、ジュースのカードを見せる	・「Kさん」と声かけしながら前に立ち、Kさんの注意を支援者に向けて ・買い物カードを支援者が指差しながら最初から最後までKさんに確認してもらおう ・終わったらかゴを渡す	
2 買い物かごを持つ	「買い物かご」のカードを見せ、かごを渡す	かごを持たずに店内に走っていかないように注意する。	
3 ジュース売り場に行く	途中で気になる商品などがありますが、気にならないように視線をカードしながら誘導する	・チーズ、おやつなどが気になりやすいので、支援者が先に歩き売り場が目にならないように立つ ・Kさんの横に付き添いジュースをかゴに入れる ・ジュール以外の商品をかゴに入れた時はKさんにジュースの買い物カードを見せる ・Kさんが違う方に歩いて行ったときは次に取り組む買い物カードを見せる ・見えなければそのまま通りすぎるので視線に注意しながら量になってください。	

1 / 2 ページ

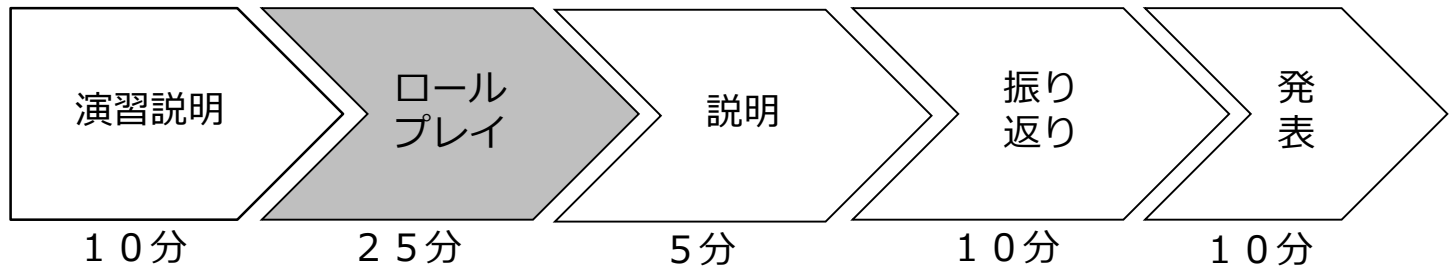
手順	支援	ポイント	記録
4 飲みたいジュースを選び買い物かごに入れる	ほしいジュースが決まっている場合は誘導する	他のジュースを並べたくなってしまうように、目的のものを提示し気持ちを誘導する	
5 カードを確認してレジに行く	途中で気になる商品などがありますが、気にならないように誘導する	見えなければそのまま通りすぎるので視線に注意しながら量になってください。	
6 レジでならんで、ジュースを買う	待っている間に走り出さないように一緒に並ぶ	気持ちが散ってしまわないように目的を確認しながら待つ	
7 お金を払い、おつりは財布に入れる	財布をレジで渡してもらい精算してもらう	・レジに着いたらKさんに財布を渡す	
8 ジュースをしまう	ジュースを自分でしまう	・買い物が終わったら、買い物カードの「家」のカードを見せる	
9 自宅に帰る	走り出さないように注意し、車などに気をつける	店を出たところでカードを見せ、自宅に帰る	

【注意事項】

- 「関わる際に考慮する点」
- ・名前以外の声掛けが苦手なので、言葉以外の手段で関わる。
 - ・買い物カードでつど次の活動を伝える
 - ・Kさんが目的と違う行動をしたり、違う方向に行ってしまったときは買い物カードで次の活動を伝える
 - ・トラブルがあった際は、保護者（tel 090-00xx-00xx）に電話で報告する

注目

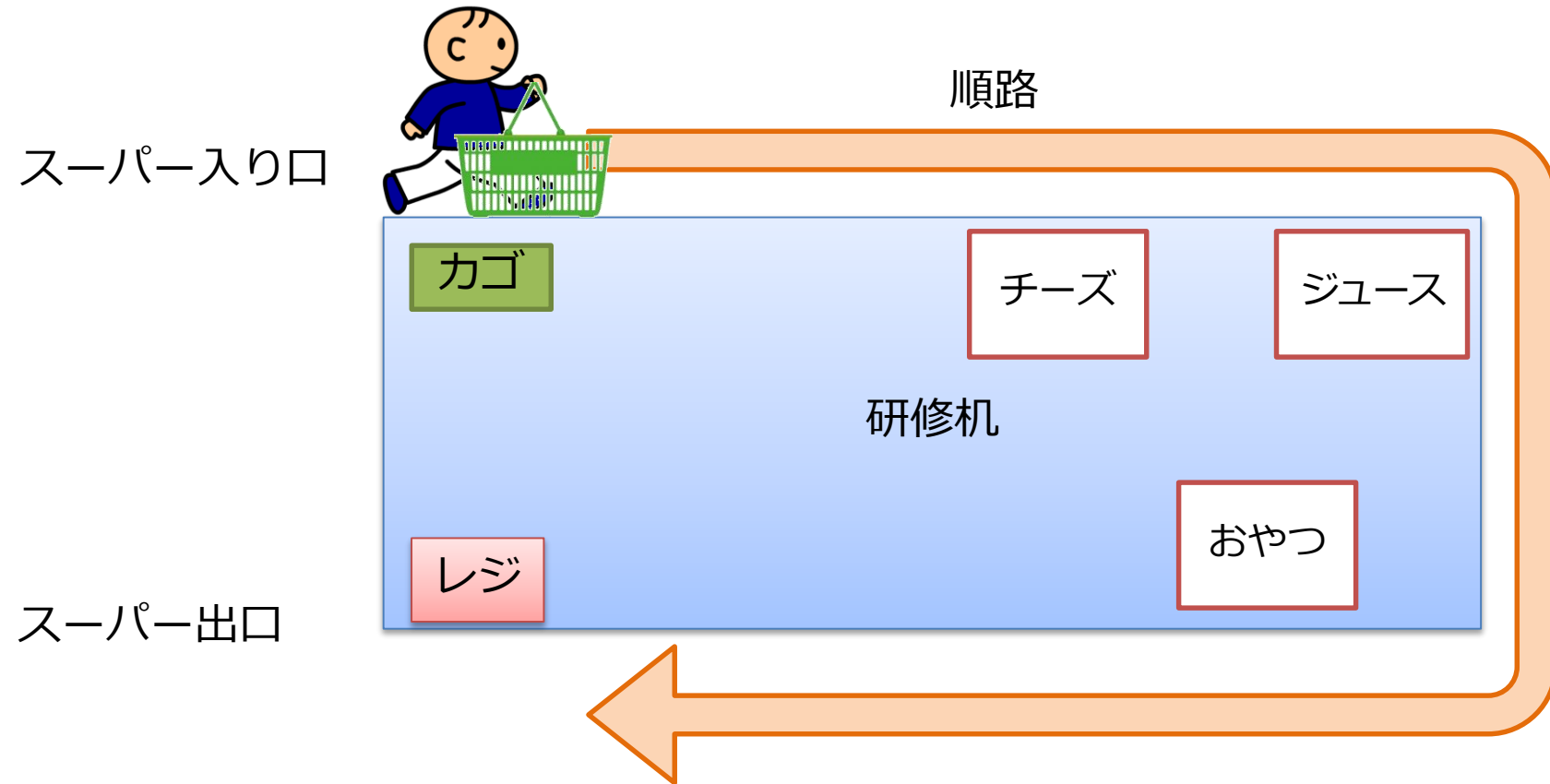




ロールプレイ

配置

スライドのみ



準備物

- ・支援手順書
- ・買い物カード
- ・買い物カゴ
- ・チーズ (付箋等)
- ・レシート
- ・ジュース (付箋等)
- ・おやつ (付箋等)
- ・財布 (袋に150円と描いた付箋を入れる)

Kさんの動き

スライドのみ

スーパー
入口

カゴ

買い物カードを最後まで確認
カゴを渡されるとチーズの方に歩く
指示がないときは後ろに戻っていく

チーズが気になり触ろうとするが
支援者役がチーズが見えないよう
に立っていた場合は取らない
そうでない場合はチーズを触る
言葉・ジェスチャーの指示はわか
らないので従わない

ジュースをカゴに入れる
買い物カードで次の活動を
確認
指示がないと後ろに戻って
いく

付箋：
チーズ

付箋：
ジュース

長机

スーパー
出口

レジ

店員にカゴを渡す
支援者から財布を受け取る
代金を言われると、財布の中から
150円(付箋)を渡す
レシートを受け取る
ジュースを持ってスーパーを出る

付箋：
おやつ

おやつをカゴに入れる
買い物カードを見ると理解して
おやつを戻す
言葉、ジェスチャーの指示はわ
かないので従わない

支援者からの声かけが多くなったときは眉間にシワを
寄せて「うー」と怒った様子を見せてください

チェック項目

チェック項目

支援者の理解	支援手順書を理解し、その通りに関わっている
	視覚的な手がかりの意味を理解して関わっている
支援者の 関わり方	視覚的な手がかりに注目させている
	過度な声掛けは控えている
	指示は一つずつ伝えている (声掛けとジェスチャーは同時にしないなど)
	Kさんのペースに合わせて関わっている

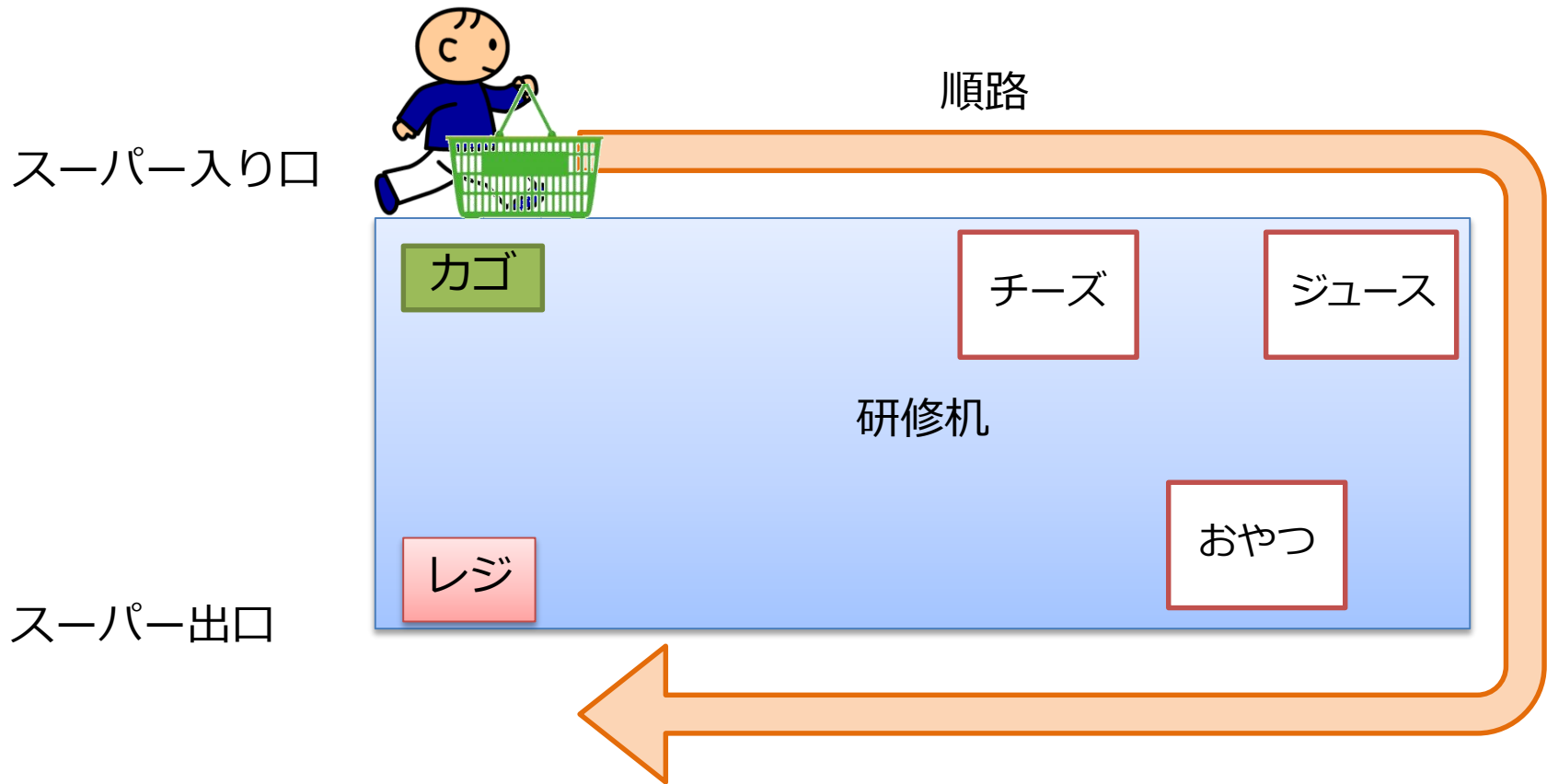
読み込み時間 (5分)

デモンストレーション

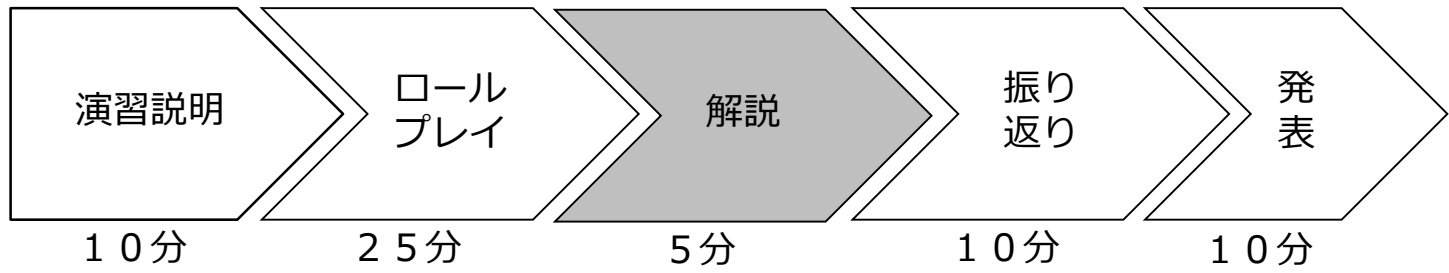
※デモンストレーション映像を視聴します

リハーサル（5分）

ロールプレイ中… スライドのみ



早く終わった所は、自分の支援を支援手順書の「記録」欄に記録を記入してください。話し合いの材料になります。



ロールプレイの解説

構造化のアイデア

特性確認シート 診断の基準に関する項目	理由	構造化の工夫
<ul style="list-style-type: none"> 想像力の特性 変化への対応困難 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しが持ちにくいので視覚的に活動の流れを伝える 絵が理解できるので、絵で伝える カードをめくる形にすることで、ここの活動の順番を伝える 	<p>買い物カードを使う (視覚的な手がかり)</p>
	理由	関わり方の工夫
<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの特性 理解が難しい 感覚の特性 感覚が敏感・鈍感 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味がわかりにくい 音に対して過敏なので過度の声かけで混乱しやすい 	<p>声かけは最小限に</p>
<ul style="list-style-type: none"> 想像力の特性 常同・反復的な行動 物の一部に対する強い興味 	<ul style="list-style-type: none"> 気になるものがあると注意がそれやすいので買い物カードを見て取り組む活動をつど確認する 指示がないとどこかに歩いて行ってしまう 	<p>そのつど買い物カードを提示する</p>
<ul style="list-style-type: none"> 想像力の特性 物の一部に対する強い興味 	<ul style="list-style-type: none"> 見た物が気になりやすい特性や、衝動的に行動してしまうことへの配慮 	<p>気になる物が目に入らないように注意する</p>

支援手順書

記録の文言の例

支援のポイントを抑えた書き方

今後につながる書き方例

なぜうまく行かなかったのか？

「暴れた」ではなく「なぜ暴れてしまったのか」理由

支援側の不備？、環境の問題など？

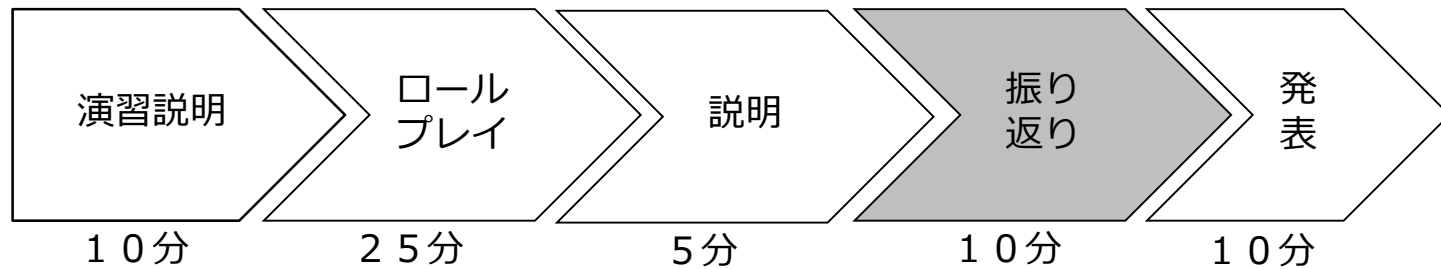
目標妥当性・支援の妥当性のための記録

本人・家族が見ることを想定した書き方

今回は、視覚的な指示
や関わり方について学
ぶため、声かけを極力
控えて関わる

Kさん ジュース買い物支援手順書／記録用紙

年月日	氏名	〇〇〇 K〇〇	
手順	支援	ポイント	記録
事前準備	・買い物カード ・150円の入った財布		
1 スーパーの入り口でカードを確認する	ジュースを買うことを伝えるために、 ジュースのカードを見せる	・「Kさん」と声かけて、Kさんの 注意を支援者に向ける ・買い物カードを支援者が指差しな がら最初から最後までKさんに確認し てもらおう ・終わったらカゴを渡す	
2 買い物かごを持つ	「買い物かご」のカードを見せ、かご を渡す	かごを持たずに店内に走っていか ないように注意する。	
3 ジュース売り場に行く	途中に気になる商品などありますが が、気にならないように視線をガード しながら誘導する	・チーズ、おやつなどが気になりや すいので、支援者が先に歩き売り場 が目に入らないように立つ ・Kさんの横に付き添いジュースをカ ゴに入れる ・ジュール以外の商品をカゴに入れ た時はKさんにジュースの買い物カ ードを見せる ・Kさんが違う方へ歩いて行ったとき は次に取り組む買い物カードを見せ る ・見えなければそのまま通りすぎる ので視線に注意しながら壁になっ てください。	

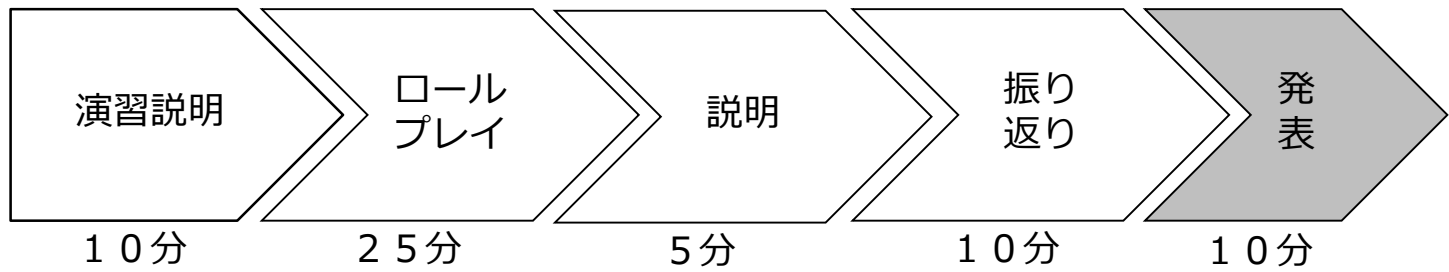


振り返り

■ A3 「振り返りシート」を使います

「振り返りで話し合う内容」

- モデル役、支援者役、観察者役それぞれロールプレイの感想を話す
- 支援手順書どおりに取り組めたか？（支援者が）
- 手順書の内容が理解できたか？
- 支援ツール（カード）の使い方は適切だったか？見やすかったか？
- こうした支援手順書がなく、声かけだけで関わっていればKさんはどうなっていたでしょう？



発表

「振り返りで話し合った内容を他のグループとも共有をしましょう。」

まとめ

1. 支援手順書に従って関わることが重要
→対応の統一、安定した支援につなげる
2. 言葉による指示や関わりだけでなく視覚的な手がかりを使う事が重要
→自閉症の人に関わらず視覚的な情報は重要な手がかりになる
3. 声かけ中心から、強度行動障害の人や自閉症の人に合わせた関わり方へ
→言葉がダメではないが、混乱する人も多いことを知る
ひとりひとりに合った合理的な配慮を考える